

『指導救命士としての取り組み』

	都道府県名	島根県
	所 属	江津邑智消防組合消防本部 江津消防署 兼 警防課
	氏 名	奥羽場 美幸
	職名・階級	救急係長・消防司令
	指導救命士養成研修 受 講 時 期	平成26年度 指導救命士養成研修 第1期 修了

【指導救命士業務の開始まで】

私は救急救命九州研修所で実施された平成 26 年度第 1 回指導救命士養成研修を修了し、「指導的立場にある救命士」として業務に従事していましたが、人事異動により消防署兼消防本部担当課救急係長を拝命したことにより、当消防本部内で「指導救命士」というポジションを確立するため、救急業務実施規程の全部を改正するとともに、指導救命士運用要綱を新たに策定しました。

【消防本部において】

指導救命士という立場が確立した後、救急カンファレンスを企画し実行しました。この救急カンファレンスでは、各署所の救急隊長を対象に、自地域のデータを指導救命士が提示し、地域の特徴を認識するとともに、伸ばすべき点や改善すべき点を抽出し、そして実行していくための方策を検討しました。これをプロフェッショナル・オートノミー養成と位置づけ、各々が知の生産者へと成長していくことを目的としました。なお、現在は「現場対応型救急隊員への成長」を目的とした企画を検討しています。

また、同研修所で学んだことをもとに各救急隊の特徴、各救急救命士の症例経験数を把握し、今まで漠然と実施していた救急訓練ではなく、「隊」や「救急救命士」のそれぞれに応じた教育や指導を行い、様々な観点から自律性、利他性、専門性、倫理性の高い救急隊員を多く育成するための取り組みを行っています。

【地区 MC において】

浜田・江津地区 MC においては MC 事務担当者として、消防本部間や医療機関等との連絡調整及び MC 内における様々な議題の調整等を行っています。

地区 MC 内における指導救命士のポジションについては、専門部会において指導救命士枠を設置しています。現在は、指導救命士が中心となって専門部会が運営され、そこで諮られた事項が地区 MC に反映されています。

【県 MC において】

島根県においては、気鋭の MC 協議会のもと、県 MC 認定の指導救命士として各種講習会に参画するとともに、県内の指導救命士によるミーティングにおいて様々な議論を交わし、施策へと反映していただいています。

島根県の指導救命士は、消防本部や地区 MC の枠を越え、県の指導救命士として活躍の場が与えられていますので、今後ますます島根県における救急業務の質が向上するものと期待しています。

おわりに

私は恵まれた環境で業務をさせていただいていますが、まだ指導救命士が十分に能力を発揮できていない地域もあると聞いています。

「一樹百穫なるものは人なり」という言葉が中国古典の管子にあります。人材育成の重要性を説いたものですが、今まさに行うべきは熟達化した救急隊員の育成であり、その事項を達成するためには指導救命士という存在が必要不可欠だと信じています。

地域住民の負託に応えていくため、今後ますます指導救命士が各地域の核となって活躍していくことを祈念します。



日常的に行っている救急活動の振り返り風景